

自昭和二十一年四月二日  
至昭和二十一年四月三十日

衛生史編纂資料

於湖北省沔陽縣仙桃鎮 獨立歩兵第五旅團(第5師軍)

一部隊行動ノ概要

兵團ハ依然原駐留地ニ於テ復員業務ノ充實ヲ期スルト共ニ次期  
行動ニ資スルヲ行軍演習並ニ復員演習ヲ併用シ將兵ノ體力  
氣力ノ練磨健康保持増強傷疾疾病豫防ニ全力ヲ傾注シ  
以テ是等復員將兵ノ戰疫ニ因ル減耗ヲ防止シ併セテ復員  
後ニ於ル精神的將又肉體的要素ヲ培養シツル左記ノ如ク行  
動ス

(1) 吉岡技術軍曹以下三名中國側漢口出張ノ爲運轉手トシ

テ四月二日出張ス

(2) 塩原少佐以下二十三名命令受領並ニ書類検査直ノ爲四月十一

日漢口軍司令部ニ出張ス

3

3) 旅團司令部及各大隊ハ四月十一日並ニ同日十三日復員ニ因スル  
衛生講話ヲ實施ス

4) 四月十七日旅團衛生材料検査ヲ實施ス

5) 村上少將以下七名中國側取調及ヒ兵器返納ノ爲メ漢口ニ出  
張ス

6) 四月二十七日漢口行營所第二検査組長來仙ニ携行諸物品  
ノ検査直實施サル

7) 四月二十七日ヨリ兵團全員ノ検査ヲ實施同日末日概テ完了ス

## ニ衛生機關業務ノ概要

1) 仙桃鎮患者療養所ハ依然同様原駐地ニ於テ兵團入院

患者ノ收容治療ノ完璧ヲ圖ルト共ニ復員關係書類ノ完

成ヲ期シ以テ次期行動ニ支障ナキ如ク準備中ナリ

2) 四月末現在入院患者總數六四名ニシテ兵團次期行動ニ支障

ナカラシメル目的ヲ以テ各大隊ニ於テ必要入院患者ハ速ニ入院セシメ

極カ現駐留地ニ於テ治療恢復スヘク努力スルモ諸資材ノ不足及  
諸施設ノ缺乏等ニ加ヘ給養方面意ノ如クナラス五月初旬是等  
患者五六名ヲ武漢地區兵站病院ニ後送セシムル豫定ナリ

ハ各大隊醫務室ハ前月ニ引續キ次期行動ニ資スヘク益々將  
兵ノ體カ氣カノ練磨ヲ圖リ保健防疫ノ完壁ヲ期シツツ復員隊  
係書類及ヒ診斷治療ニ邁進シ特ニ傳染病發生ヲ防止スヘク  
衛生講話、衛生巡察等併セ實施セヨ以テ患者發生ヲ防  
止シツツアリ

三人的戰力ノ狀況並ニ之ヲ保持增強ノ爲實施シタル事項(自給自  
治對策ヲ含ム)

天候好轉スルト共ニ兵團ハ次期行動ニ於ケル將兵ノ體カ氣カ  
ノ練磨傷疾疾病ノ豫防ト相俟ツテ各種運動競技ヲ實施シ引  
續キ農園耕作給養ノ向上ヲ促進シ尚保健對策ノ爲將又  
自給自治對策トシテ其ノ中國側農家ノ耕作等協力スルモ兵

圍ハ是等協カノ範圍ヲ限定シ休養給與ノ適切化ニ献身的努力ヲ傾注シ自給自治對策ト相俟テ身心ノ鍛練人竹戰カノ保持増強ニ努メタリ

#### 四 防疫及衛生施設ノ概要

兵團ハ前日同様依然原駐留地ニ於テ旅團司令部及旅團通信隊ニ百七夫隊ヲ除キ其ノ他ノ諸大隊ハ華人民家ノ土間ヲ利用起居シアル現況下ナルモ兵團次期行動ヲ豫想シ極力衛生防疫ノ強化ヲ培徒シ寢具及被服ノ保清華人民集木トノ接觸ヲ避ケ傳染病患者ノ發生ヲ防止シ現在前記患者ノ發生ヲ見ス而レ共非衛生的ナル環境下ニ在リテ是ヲ發生防止ニ少カラス努力ヲ傾注シ銳意之ヲ折削ニ努メ以テ兵團全員ノ完全ナル復員ヲ期ス

ハノ努カシアリ

#### 五 衛生材料ノ狀況

特記事項ナシ

六、接收ニ関スル涉外事項

特記事項ナシ

七、患者ノ狀況

の兵團當目未現在入院患者有六四名ニシテ内科三九名外科二三名傳染病三名ニシテ別紙第一ニ示ス如クナルモ兵團次期行動ノ爲支障ナキ如ク各大隊ニ於ケル要入院患者ハ嚴選シ速ク之ヲ入院ヲ實施セシメタルヨリ前日依リ入院患者多数ヲ不セリ

而シテ傳染病收容ハ三名ナルモ赤痢一、假痘疑一、パラチラス疑一名ニシテ以後是等患者ノ發生アシ

四月間ニ於ケル患者發生狀況別紙第一ニ示シテマリアリ其ノ首位ヲ占ム皮膚病、栄養素病、呼吸器病ノ順位ナリ

八、患者ノ後送

該當事項ナシ

九、居留民ノ衛生指導

該當事項ナシ  
○其ノ他  
特記事項ナシ

1083

別紙第一

四月末入院患者人員表

昭二一四三〇調  
陸立歩兵第五旅團

備考	總計	其 他	傳染 病	外 科	内 科	區分			病 名 別	員 數	小 計
						現 在 担 當	送 護 送 出	步			
傳染病ニトアル 細菌性赤痢 假症候、 ハチマエ疑各一名トス	六四		三	二二	三九						
	一六		一	三	一三						
	一一		一	三	八						
	三六		一	一六	一九						
			霍乱 假症候 細菌性赤痢	坐骨突起炎一 骨折一	胸膜炎ニ肺炎 四肺炎結核三 リア一 栄養失調症一 腸炎一						
	一六		一	三	一三						

昭和三年 自四月一日 至四月三十日 患者發生表

昭二、四、三〇 調  
獨立歩兵第五旅團

病類別	病區		計
	分	日	
赤痢	1	1	1
チフス			
發疹チフス			
其他傳染病	1	1	1
マラリア	2	2	2
性病	1	1	1
脚氣病			
皮膚病	4	3	8
回歸熱			
神經系病		2	2
呼吸器病	2	2	2
循環器病	1	1	1
營養器病	2	2	2
運動器病			
外傷	2	2	2
其他	35	35	35
計	49	43	92
部隊人員數	47	47	94

備考

- ①アミアノ數字ハ院患者ノ南記トス
- ②疑患者ハ各該當病類別ニ算入ス
- ③性病及マラリア患者ハ就業以上其ノ他ハ練兵休以上トス



自昭和二十五年四月一日  
至昭和二十五年四月三十日

衛生史編纂資料

於湖北省沔陽縣仙桃鎮 獨立步兵第五旅團(第空軍)

一 部隊行動ノ概要

① 兵團ハ依然際駐留地ニ於テ復員業務ノ完壁ヲ期スルト共ニ次期  
行動ニ資スヘク行軍演習並ニ復員演習ヲ併用シ將兵ノ體力  
氣力ノ練磨健康保持増強傷疾疾病豫防ニ全カク傾注シ  
以テ是等復員將兵ノ戰疫ニ因ル減耗ヲ防止シ併セテ復員  
後ニ於ケル精神的將又肉體的要素ヲ培養シツル左記ノ如ク行  
動ス

② 吉岡技術軍曹以下三名中國側漢口出張ノ爲進轉手トシ  
テ四月二日出張ス

③ 塩原少佐以下二十名命令受領並ニ書類検査ノ爲四月十一  
日漢口軍司令部ニ出張ス

③旅團司令部及各大隊ハ四月十一日並ニ同日十三日復員ニ関スル衛生講話ヲ實施ス

④四月十七日旅團衛生材料検査ヲ實施ス

⑤村上少將以下七名中國側取調及ヒ兵眷返納ノ爲メ漢口ニ出張ス

⑥四月二十七日漢口行營所第二検査組長來仙シ携行諸物品ノ検査宜實施セラル

⑦四月二十七日ヨリ兵團全員ノ検査ヲ實施同日末日概テ完了ス

## ニ衛生機関業務ノ概要

①仙桃鎮患者療養所ハ依然同様原駐地ニ於テ兵團入院

患者ノ收容治療ノ完璧ヲ圖ルト共ニ復員関係書類ノ完

成ヲ期シ以テ次期行動ニ支障ナキ知準備中ナリ

②四月末現在入院患者總數六四名ニテ兵團次期行動ニ支障

ナカラシメル目的ヲ以テ各大隊於テ必要入院患者ハ速ニ入院セシム

極力現駐留地ニ於テ治療恢復スヘク努力スルモ諸資材ノ不足及  
諸施設ノ缺乏等ニ加ヘ給養亦所慮ノ如クナラス五月初旬是等  
患者五六名ヲ武漢地區兵站病院ニ後送セシムル豫定ナリ

各大隊醫務室ハ前月ニ引續キ次期行動ニ資スヘク益々將  
兵ノ體カ氣カノ練磨ヲ圖リ保健防疫ノ完壁ヲ期シツツ復員團  
係書百類及ヒ診斷治療ニ邁進シ特ニ傳染病發生ヲ防止スヘク  
衛生講話・衛生巡察等併セ實施セシメ以テ患者發生ヲ防  
止シツツアリ

三人の戦カノ狀況並ニ之カ保持増強ノ爲實施シル事項(自給自  
給對策ヲ含ム)

天候好轉スルト共ニ兵團ハ次期行動ニ於ケル將兵ノ體カ氣カ  
ノ練磨傷疾疾病ノ豫防ト相俟ツテ各種運動競技ヲ實施シ引  
續キ農園耕作給養ノ向上ヲ促進シ尚保健對策ノ爲將又  
自給自給對策トシテ其基ヲ中國側農家ノ耕作等協カスルモ兵

團ハ是等協カノ範圍ヲ限定シ休養給與ノ適切化ニ献身的努力ヲ傾注シ自給自治對策ト相俟ツ身心ノ鍛練人伍戰カノ保持増強ニ努メタリ

#### 四 防疫及衛生施設ノ概要

兵團ハ前日同様依然原駐留地ニ於テ旅團司令部及旅團通信隊ニ百七大隊ヲ除キ其ノ他ノ諸大隊ハ華人民家ノ土間ヲ利用起居シアル現況下ナルモ兵團次期行動ヲ豫想シ極力衛生防疫ノ強化ヲ培徒シ寢具及被服ノ保清華人民集木トノ接觸ヲ避テ傳染病患者ノ發生ヲ防止シ現在前記患者ノ發生ヲ見ス所レ共非衛生的ナル環境下ニ在ラテ是カ發生防止ニ少カラス努力ヲ傾注シ銳意ニテ折衝ニ努メ以テ兵團全員ノ完全ナル復員ヲ期スヘク努力カミアリ

#### 五 衛生材料ノ狀況

特記事事項アシ

六、接收ニ関スル涉外事項

持記事項ナシ

七、患者ノ狀況

の兵團當目未現在入院患者六四名ニシテ内科三九名外科二名  
名傳染病三名ニシテ別紙第一ニ示ス如クナルモ兵團次期行動ノ爲  
支障ナキ如ク各大隊ニ於ケル要入院患者ハ最速ニ速ク入院  
ヲ實現セシメタルニヨリ前日併リ入院患者多数ヲ不セリ

而シテ傳染病收容ハ三名ナルモ赤痢一、假痘疑一、パラチフス疑一名  
ニシテ以後是等患者ノ發生アシ

の月間ニ於ケル患者發生狀況別紙第一ニ如クニシテマリア 其ノ首  
位ヲ占ム皮膚病、栄養器病、呼吸器病ノ順位ナリ  
ハ患者ノ後送

該當事項ナシ

九、居留民ノ衛生指導

該當事項ナシ

一〇 其ノ他

特記事項ナシ

1091

別紙第一

山内末入院患者人員表

昭二、四、三〇、調  
陸上歩兵第三旅團

備考	總計	其 他	傳染 病	外 科	内 科	區			備 考
						分 速	在 担	送 護 送 陸 上	
傳染病三ノ六、細菌性赤痢依症疑、公ニテ又疑各一各トス	六四		三	二二	三九				
	一六		一	三	一三				
	一一		一	三	八				
	三六		一	一六	一九				
			假 症 疑	全身性赤痢 細菌性赤痢 假 症 疑	山林突起炎 一 五 而 一 梅毒 一	胸膜炎ニ肺炎四兩結核三ノ ロア一 腎囊炎頸椎一 肺炎一			
	一六		一	三	二				

昭和三年 自四月一日 至四月三十日 患者發生表

昭二、四、三〇 調  
獨立歩兵第五旅團

病類別	病區		計	部隊人員數	備考
	分	同			
赤痢	1	1	2	47	(一)アミアノ數字ノ入院患者ノ内記トス (二)疑患者ハ各該當病類別ニ算入ス (三)性病及マリアリス患者ハ就業以上其ノ他練兵休以上トス
チフス	1	1	2	47	
發疹チフス	1	1	2	47	
其他傳染病	1	1	2	47	
マラリア	2	2	4	47	
性病	1	1	2	47	
脚氣病	1	1	2	47	
皮膚病	4	3	7	47	
回歸熱	1	1	2	47	
神經系病	1	1	2	47	
呼吸器病	1	1	2	47	
循環器病	1	1	2	47	
榮養器病	2	2	4	47	
運動器病	1	1	2	47	
外傷	1	1	2	47	
其他	35	35	70	47	
計	49	49	98	47	